

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ひなた北千里		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひなた北千里を利用する子どもたち一人一人のことを考え、共有し、どのような活動や取り組み、またはどのような合理的配慮が必要であるのかをスタッフ間で話し合いを重ねることが出来ている。	それぞれの児童指導員のこれまでの経験や知識を元に、児童発達管理責任者のみの視点だけではなく様々な指導員の視点を吸い上げるための工夫(スタッフ間のコミュニケーション)を常に考えている。 ・モニタリング会議を常勤児童支援員と行う ・全スタッフの揃う場で個別支援計画更新に関わる会議を行う	限られた時間の中で情報や手立てを共有し、一人一人の支援の方向性や配慮を統一するために、個人情報に留意しながらアプリ機能を使ってスタッフ間において情報共有や意思の疎通を行っていく。 ・日常のなかで気になったことや保護者の方から得た情報などを全てのスタッフに共有できるようにアプリを利用する
2	子どもたちの将来のために多様な取り組みを行っている。	子どもたちが楽しみながらたくさんの経験を積むことができるように、「やってみたい」と思える活動内容と手立てを考えている。 ・室内活動…調理・工作・運動・ルールのある遊びなど ・屋外活動…公共交通機関の利用・買い物・プール・山登りなど	「楽しい」と実感できる取り組みをベースにしながらも、衣類の着脱や荷物の管理、外食の注文の仕方やレジでの支払いに必要なスキルなど、子どもたちの生活自立に繋がる細かな手立てを実践していく。 ・活動を通して身に付けて欲しいスキルなどをスタッフ間で共有しスモールステップで一つ一つ積み上げていく
3	利用児童の人数や活動内容に応じた人員配置や活動場所の振り分けを行っている。	安全に活動できることを最優先にしながらも、子どもたちに丁寧に扱われる人数でグループ分けを行い、室内活動グループと屋外活動グループに分かれて活動している。 ・分かれて少人数で活動するパターンと、全員で活動するパターンを意図的に考えて活動内容を考えている。	現在は活動内容や行先などをスタッフ内で考えているが、今後は子どもたちにも考えてもらう機会を設けていきたい。 ・今年度のひなた北千里大きな取り組み目標は「自分で考え、自分で実行する習慣をつける」です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時・非常時の対応	業務が多い ↓ 膨大な業務の合間で法人にも協力をお願いしながら、避難訓練や備蓄用品の管理、義務研修など協力体制を整えていく。	・非常時においては、子どもを安全に保護者の方に引き渡すことを最優先にシュミレーションを行う。 ・真夏、真冬の時期に停電し空調が機能しない状況でも保護者に安全に引き渡すまで子どもの命を守るためのシュミレーションを備蓄品の準備を行う。 ・避難所において安全に過ごす手立てをシュミレーションする。 ・スタッフ間にて非常時の対応と持ち出し荷物の確認を行う。
2	保護者の方との連絡対応 送迎時間の変更や欠席連絡の管理等	欠席連絡や変更連絡が管理者LINE、事業所の固定電話、連絡帳への記入など複数個所の窓口があり把握が複雑だった ↓ 令和7年度より保護者と事業所間での連絡アプリの導入	・送迎に感じては本当に複雑な業務なので、事業所内での連絡ミスや把握ミスなどを減らす工夫はしながらも、前日に送信する送迎時間連絡において保護者の方にも確認をお願いする。 ・事業所内においては、保護者の方からいただいた変更連絡をすぐにアプリと事業所内の送迎表にすぐに反映させるようにする。
3	保護者間交流	令和6年度においては業務量の多さから、保護者間交流を断念していた一年だった。 ↓ 令和7年度より法人理事やひなた北千里スタッフの協力を仰ぎながら活動が停止していた「ひだまり」の活動を再開させる。	母親たちのお喋りイベント「ひだまり」を通して、 ①保護者間の交流や情報共有の場を提供する ②ひなた北千里の保護者以外も参加できるイベントを開催し、地域に開かれた事業所にする という二つの取り組みを実現する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 ひなた北千里

公表日 2025年5月15日

利用児童数

15

回収数

7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4		1	昨年度は、土曜日開講も始まり、スタッフの方もお忙しくされていたからか、保護者の集まりの場がなかったのが残念でした。同じ年齢、同じ小学校の子を持つ保護者の会で悩み相談やいろいろな情報共有ができる機会があればありがたいです。	今年度はかひなた北千里の管理者だけではなく、法人理事や他のスタッフの方にも協力いただき「ひだまり」の定期開催を検討しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	1	きょうだいへの支援があればありがたい	たくさんの保護者の方の意見も集めながら、「ひだまり」の取り組みを通してニーズにお応えしたいと思っております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		1	お忙しいと思うのですが、もう少し対応（回答）が早いと有難いです。	ご意見ありがとうございます。迅速に対応できるように善処致します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				連絡体制がもう少し整うと有難いです。こちらでも急な変更があったり、学校の予定がわかるのも前月の末くらいなので、申し訳ないのですが、数回お迎え時間の間違いがあるので気をつけていただけたらと思います。こちらでも気をつけます。（新連絡システムになり、うまく稼働すると良いなと思います。）	ご意見ありがとうございます。今年度より連絡アプリも導入し、事業所内での連携ミスを減らす工夫を行って参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				毎回、工作や料理等いろんな経験をさせていただいて有難いです。家でも料理や洗い物等積極的に手伝ってくれるようになりました。改善点というか、疑問に思ったことですが、時々運転している方のみが送迎されているのが気になります。家まで近くて子供2人なので、良いですが。大人乗車人数の基準はあるのでしょうか？	添乗スタッフが乗るor乗らないの基準はありませんが、事業所から近い場合や1台に乘せる子どもが少ない場合などは添乗スタッフが乗らない場合もあります。基本的には安全第一を考慮して判断しております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
ひなた北千里		2025年 5月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	スタッフ間で様々な事を共有することができている 子どもに合わせてプログラム作りをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	空き時間をみつけては使い易い現場を作っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	3年経った今でも子どもの視線を常に考え試行錯誤している 玄関の狭さが、不便。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃整理整頓はいつも心掛けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	子どもによって、或いはその時の体調を考えどの場が良いかを考えている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	ミーティングや勤務時間を考慮して話し合いができる環境を作っている ミーティングでの共有	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者同士で話せる機会を作ったり、保護者からの連絡はいつでも取れる環境作りをしていると思う ミーティングでの共有	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティング時が良い機会 ミーティングでの共有	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	ミーティングでの共有	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	研修の案内等の紹介がある 時間的に難しい中でも努力している	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ミーティングで面談を控えている利用者の話し合いをしている ミーティングでの共有	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	一従業員としては力不足だが、皆良く考えていると思う ミーティングでの共有	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	様々な事を共有している ミーティングでの共有	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	様々な事を色々な角度で見るように心掛けていると思う ミーティングでの共有	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	上記の言葉が難しい ミーティングでの共有	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	難しい文書を読みながら理解をしようと努力しているのを感じる ミーティングでの共有	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	中心は一人だが、周りの意見に耳を傾けている ミーティングでの共有	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	いろいろな方向から知識を得ようとしている ミーティングでの共有	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	スタッフが理解しやすいように日々進化している気がする	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	日報でその日の動きが分かるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	トラブルがなければ自然とその日その子の様子や問題点を話し合える時間がある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	保護者への連絡や支援の記録は気をつけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	文書を読み返すことで確認等を心掛けている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	5	1		
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		